

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

新2002年4月28日

22号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL045-562-3600

FAX045-562-5991



まずは半年、初心忘れずに



重度重複身体障害者も地域の中で楽しく生活

春爛漫。時の流れは速く、新年度の4月も半ばを過ぎました。皆さんお元気ですか。

この季節は福祉の世界も、地域活動ホーム、作業所、グループホーム、あるいはボランティア団体等、あそこでもここでもと4月から5月にかけて決算報告や活動計画を立てるための総会で、大忙しです。(当「支える会」の総会は6月の予定です。)

* * *

10月からオープンした私たちの支える「よつばホーム」も、先日総会を行いました。

多くの「支える会」の皆さんに応援して頂きながらの出発でしたが、これまで余り例の無い最重度のメンバーが、どうしたら安全に楽しく暮らせるか、十分な人手が安定的に用意できるのか……。私たちの心配は、限りがありませんでした。

お陰様で、医療面では、訪問看護ステーションと医師斉木先生との連携により、定期的な往診を頂き、また緊急時でのご指示も頂いて無事6か月が過ぎました。



懇談会について

これからの会の活動について、会員の皆さんの意見をいろいろ出しましょう！

ブラリとご参加ください。

とき：5月31日(金)

午後6時より

会場：活動ホームしもだ

また、ホームヘルパーによる介助やボランティアによる食事作りも大変たすかっています。

職員のほうは、出発前からの常勤職員2名の他に2名の非常勤とアルバイトでスタッフを組んでいます。

なかなか非常勤の職員が決まらず、十分な体制が組みませんでした。ようやく男性の非常勤職員も決まりましたので、体制を整えて、この4月からはいよいよ本番です。

入居者の皆さんもホームでの生活になじんできたところで、宿泊も予定数をこなせるようになると思います。

「始めにちゃんとして無ければ、後からだんだん良くなるなどという事はないんです、この世界は。」とい

うのは、ある施設の先生から伺った言葉ですが、確かにそうだと私たちも自分達に言い聞かせてきた事です。

はじめの意気込みと周到的な準備、そして何時まで経っても初心を忘れる事無く積み上げられる努力。「必要なのだから成せばなる」という仲間たちの熱いスクラムで始まった事ですが、しなやかに、一人でも多くの人達と力を合わせていけるような会にしたいものです。

＝学習会＝障害者福祉の新しい制度と重度障害者の地域生活について

4月20日：講師：石渡 和実氏(東洋英和女学院大学教授)

平成15年より障害者福祉の制度が、これまでの役所で決める措置から、利用者が選ぶ、支援費制度へと大きくかわります。

重度身体障害者のグループは、この制度の適応外ですが、活動ホームのデイサービス部分や、ホームヘルパー制度などを利用していますので、けして無縁では無く、多くの問題点について勉強し、また必要なら運動もしていかなければなりません。

先日は、よつばホームの運営委員会に続いて、運営委員さんや、職員、障害者の親たちで石渡先生から、資料を元におはなしを伺いました。これからも勉強していきたいと思ひます。



私は言葉が出ないので 文を書くことがへたです。

いつも仕上げは 言葉の使い方を直してもらわなければなりません。

ほんとうは、全部一人で やりたいのですが.....

直してもらおうと 自分で書いたのでは ないような気がしてちょっと 残念なのですが、ちゃんと伝えたいときは、たのむことにします。

でも思っていることを 上手に書けなくても、頭の中で考えたり 心の中で思ったりすることはたくさんあります。

書いているうちに 短い手紙やメールなども 一人で 書けるようになったし、障害者の心を出して、皆に見ていただくことは 私にも出来るお手伝いと思って「たわわ」の係りとしてメガネの声を 続けてきました。



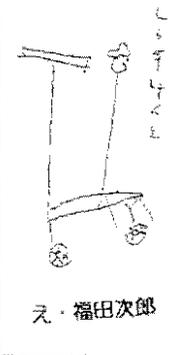
これからも 「支える会」のことをお伝えする「たわわ」を続けて行こうと思ひます。

いつも しめきりの前は 何を書こうかとまよっています。「障害者のことを聞いて見たい」と思ったらどんどん教えて下さい。

支える会の通信「たわわ」を中心になって 作っていた小堀さんが 忙しくなって遅くまで仕事が出来なくなりました。

そこで 私と 地域の人とで 続けて行くことに なりました。 よろしく お願いします!!

大原友子



え・福田次郎

ご入会・ご継続ありがとうございます

《顧問》 薄井 芳夫 若木 信子 門脇 知子 岩崎 千恵 酒井 喜和

《会員》 菅原 賢 高橋 澄江 古田 節子 大原 友子 大原 日恵

山田千枝子 福田 定子 高島 慶子 小栗由美子

《賛助会員》 安田 章子 佐藤 政子 加藤 秀子 浜 あい子 永澤 利子

和田美和子 黒田 道子 宮田 忠夫 川上 三寶 北川 道子

石坂 文代 高島 稔 高木 節子 岡本美知子 佐藤 幸市

高橋 えい 山口 進 磯村 博子 寺沢 慎 三上 文子

福島喜美代 山本 邦子 吉田 博子 野口 儀子 大原 朋子

福田 政江 小堀 正巳 森 芳春 松山伊智子 川口 珠江

福田 徹 寺田 借子 寺田 美奈 岩田八重子 白川 淳子

鈴木 富子 高島 傑 笹瀬スマ子 小林 辰雄 石井 正雄

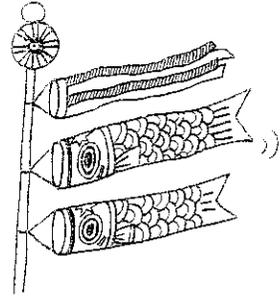
高島 シヅ 高島 誠 小栗 芳久 小栗 雄介 小栗 洋平

小栗久美子 佐藤 栄吉

《賛助会員団体》

フォーラム港北教育相談室 [敬称略]

大原マネジメント研究所 平成(14年4月22日現在)



今月のよつばホーム

4月は入居者の福田さん、高島さんの誕生日がありました。ケーキにろうそくを立ててハッピーバースデーを歌い、みんなでお祝いしました。ろうそくの火を吹き消した時は少し照れくさそうでしたが、とても嬉しそうでした。

今月の後半から、金曜日の夕食はヨシケイではなく、入居者に食べたいものをリクエストしてもらい、好きなメニューにすることになりました。みんな、料理の本を読みながら「これが食べたい」等話していて、楽しみにしています。1回目はオムライスになり、すごい勢いで食べ終わってしまった人もいれば、大事そうに味わいながら食べている人もいました。2回目の予定はちらしずしです。まだリクエストしていない人は、本とにらめっこして悩んでいます。楽しみが増えたことで、生活に張りが出てきたように思います。

平成14年度よつばホーム第一回運営委員会

平成14年4月20日(土)午前10時より、新吉田町の新田地区センターで本年度第1回の運営委員会が開かれました。議題は次のとおりです。

1. 平成13年度事業報告について
2. 平成13年度収支決算報告について
3. 平成13年度会計監査報告について
4. 平成14年度事業計画(案)について
5. 平成14年度収支予算(案)について
6. 障害者福祉の新しい制度と重い障害を持つ人達の地域生活について
講師：運営委員 石渡和実氏(群馬大学)
7. その他

事業報告では、昨年10月に開所してより6か月間の活動の中で、入居者4人の生活状況や健康状態、援助体制、などが報告され、これを踏まえて14年度の新しい活動計画案が提示され、審議の上承認されました。

収支決算では、高熱水費、介護料が入居者負担金より下回ったため、一部返却される事と決まりました。また、新年度の援助体制等に伴う収支予算が決定しました。

会員の皆さんからの一言

いつも会報をありがとうございます。

鶴見区の活動ホーム「もとみや」の保護者有志で昨年からはグループホーム勉強会をスタート。TAWAWAからの情報はいろいろ参考になる事が多いです。これからもよろしく願います。(岡本美知子)

行事になかなか参加できなくてすみません。

TAWAWAはしっかり読んだ後、掲示してあります。毎月で大変でしょうが頑張ってください！(川口 珠江)

いつもお便りありがとうございます。(森 芳春)

毎号、人柄のにじみ出ている内容の「たわわ」を読むのを楽しみにしています。(白河 淳子)

賛助会員です。ご苦勞が多い事と思いますが、頑張ってください。(鈴木 富子)

早く公的なサービスが充実して、家族会会員や、職員の活動が軽減される日があるのを祈っています。(永澤 利子)

なかなかイベント等にも参加できずご無沙汰ばかりですすみません。(佐藤 政子)

